

臨床研究のお知らせ

① 試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	膵癌患者におけるニトリルグローブ圧迫療法による nab-PTX 誘発性末梢神経障害の予防効果
	実施予定期間	倫理審査承認後（2025年12月2日）～2027年3月31日
	研究の概要	膵癌患者さんに対して行われる nab-パクリタキセル(nab-PTX、商品名:アブラキサン)を含む化学療法において、手袋による手の圧迫療法が末梢神経障害の発症を予防できるかどうかを調べる研究です。2018年4月から2024年3月までに当院でゲムシタビン/nab-PTX 療法を受けられた患者さんの診療情報を用いて、ニトリルグローブによる圧迫療法の有効性を検証します。
	対象患者	2018年4月1日から2024年3月31日の間に、当院臨床腫瘍科において、GEM/nab-PTX 療法を受けられた膵臓癌患者さんとします。
② 利用または提供する試料・情報の項目及び個人情報保護について	<p>試料・情報の項目：診療記録(年齢、性別、performance status、疾患ステージ、糖尿病の有無、投与回数、投与量、減量・休薬の有無、末梢神経障害発症の有無と重症度、治療中止理由、圧迫療法の実施状況、離脱の有無)</p> <p>利用または提供を開始する予定日：倫理審査承認後</p> <p>試料・情報の取得方法：電子カルテから後方視的に収集します。</p> <p>他機関への提供の有無：なし</p> <p>結果を公表する際の個人情報の保護について：本研究で得られた情報は匿名化して取り扱い、個人が特定されないようにした上で学会発表や論文発表を行います。</p>	
③ 研究責任者	県立広島病院 研究責任者 臨床腫瘍科・部長・児玉美千世	
④ 試料・情報を利用する者の範囲	県立広島病院 研究責任者 臨床腫瘍科・部長・児玉美千世 看護部・田村翼	
⑤ 試料・情報の管理責任	県立広島病院	
⑥ 試料・情報の利用・提供停止について	<p>本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、ご自身の試料・情報等が研究に利用されることを拒否される場合は、2026年3月31日までに⑦の窓口にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。</p> <p>（ただし、お申し出の時点でデータ解析等が終了している場合は、データを利用させていただくことがありますのでご了承ください。）</p>	
⑦ ⑥の受付	⑥について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 臨床腫瘍科 部長 児玉美千世 TEL（代表）：082-254-1818（平日8時30分～17時15分）
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		